

◆大使からの活動報告(2014年12月前半)

天皇誕生日祝賀レセプション開催他

2014年12月14日

在グアテマラ日本大使館

大使 川原 英一

■衆議院選挙在外投票の実施



12月3日午前9時半から在外選挙投票を当館でも実施を致しました。日本大使館内に設けられた在外選挙受付会場で当方も投票を行いました。選挙受付事務及び立会は、当館から委嘱した田代氏、菊川氏、上野氏のお三方に対応して頂き、6日夕まで在外投票受付を致しました。



◆天皇誕生日祝賀レセプション◆



12月3日、グアテマラ市内ホテルで、天皇誕生日祝賀レセプションを開催致しました。当国政府からは、デル・アギ



ラ教育大臣、エストラダ外務次官(左写真:左から2人目)及びビエルマン外務次官(同、左端の方)、アルダナ検察庁長官、グティエレス財務次官、カステジャノス文化次官、アバロス労働次官らが、また、コロン前大統領、カバジェロス元外相や当地主要メディアであるエミソラス・ウニダス(ラジオ)社アルチラ社長、プレンサ・リブレ紙マリア・デ・ブランク会長、経済界人・各国

大使や各大学関係者など多数の方にお越しを頂きました。両国国歌を当地で注目される若手オペラ歌手でイツモ大学建築学科学生であるアンドレス・マロキン君(右上写真:右端の方)に歌って頂きました。当方から、今年には、秋篠宮同妃両殿下の当国公式訪問があり、来年には、日本とグアテマラの外交関係樹立80周年を迎えること、文化・人的交流行事、学術交流がさらに活発となることを期待、また、日本による当国への多岐にわたる分野で実施されてきた技術協力は、当国の方々に



喜ばれていることを申し上げました。デル・アギラ教育大臣(左写真、右端の方)・両外務次官とご一緒に鏡割り(右写真)を行った後、教育大臣から、陛下の御健康をお祈りする乾杯音頭に先駆け、特に、日





本による当国児童のための算数教育分野の協力・支援につき具体的な御発言があり、深い感謝の気持ちを述べられました。



祝賀レセプション会場内には、日本酒の良さを味わってもらうコーナー（左写真）や石毛公郎料理人のにぎり寿司実演と焼きそば屋台コーナーなどを設けました。また、併せてレセプション会場内に、キャノン、サカタ

のタネ、リコー、ソニー、パナソニックの日本関連製品を御紹介するため、当国販売企業の展示ブースを設けて頂いたところ、招待客の関心を大いに惹いた様子で、会場内で商談成立もあつたと出

展関係者からお聞きました。また、当館主催のレセプションの様子は当地主要紙（左写真）・TVで報じられました。



◆国立劇場訪問(12月8日)

来年の日・グアテマラ外交関係樹立80周年の文化活動の実施場所となる当国国立劇場の下見に参りました。フルビア館長(右写真)によれば、同劇場施設は、ノーベル文学賞を受賞したミゲル・ア



ンヘル・アストリウス(左下写真の石像)を記念して36年前に建立され、同建物は当国の建築設計家が欧州各国の建物を見て回った後に設計したの



だそうです。市内の小高い丘に建てられた大変にユニークな外観です。2千名は入る大劇場、400名程度の小劇場、1000名以上収容の野外劇場(前頁右下写真)があります。来年には、この劇場で文化公演が何度か実施される予定です。

◆アステカ(メキシコ系)TV ロベルト・パイス総局長の御来訪

9日、アステカTVのパイス総局長(左下写真の方)が大使館を訪問されました。同TV局は、元々メキシコ系列TVであるが、当国メディアとして、当国に関係する事情を積極的に放映したいと考えているので、当大使館にももっと利用して下さいとの有り難いお話がありました。当方より、



来年は、日本とグアテマラの外交関係樹立80周年の年であり、この関連の活動を予定しているため、今後、いろいろな両国関連行事にお招きしたいと述べたところ、文化公演などは当日放映したい、また、当国で日本のアニメが人気があるので、放映権利を購入したいという発言がありました。さらに、当国が導入準備を行っている日本の地デジTV放送システムに強い関心がおありなので、当方より、今後、関連情報を提供していくことにしました。

■スポーツ連盟会長との懇談

12月上旬、当地の柔道・卓球・体操の3スポーツ連盟の各会長と懇談する機会がありました。



特に、柔道連盟クラウディア・リベラ会長(左写真の右から二人目)は、5才から水泳を始めナショナルチームの水泳選手として国際大会で活躍され、その後、18才から柔道選手として活躍し、2002年の中米・カリブ地域大会では金メダリスト(女子柔道78キロ以下)です。柔道協会が1964年に当国で発足し、その後14の地方で柔道協会ができたそうです。2012年始めから全国の協会を束ねる柔道連盟

の初の女性会長として、財政問題などの解決に尽力をされています。田村亮子議員(元金メダリスト)とは、ブラジルでお会いしたことがある由。国内どこでも、エグジビション試合などお呼びがかかると喜んで出かけています、と大変に精力的な活動をされています。

■当国製糖業協会ピラ会長との懇談

12月9日、ピラ(F.Vila)当国製糖業協会会長にお会いしてお話を伺いました。砂糖は、当国ではコーヒーに次いで重要な輸出産品であること、当国の最大製糖企業(マグダレナ)は、世界トップ10社に数えられること、当国南部沿岸地域などに多くのプランテーションがあること、国内生産量の7割(2百万トン以上)が輸出向けで、残り3割が国内消費向けであり、まずは、国内需要を満たすことが義務づけられています。また、グアテマラは、砂糖の輸入関税として20%課しているが、メキシコの場合は、180%の高い輸入関税、米



国も140%の高税率と、いずれも自国産業が手厚く保護されている。世界で生産性が最も高いのは、コロンビアであり、ヘクタール当たり12.5トンであり、次いでスワジランド(12トン)、グアテマラ(11トン)の順です。特にコロンビアは、グアテマラに比較すると、雨期が短く、年間を通じて天気が良いことから単位当たり収量が多いとのことでした。砂糖品質・生産向上等のため、業界が共同出資した研究センターがあり、3年前から、あらたに気候変動研究センターも設置され、国際的にその活動が注目されていると伺いました。また、同会長より、砂糖生産地域の小学校のいくつかは、当大使館草の根支援による助成を受けて、製糖業協会が地元と共同して改築作業をしたものであり、日本政府の支援に感謝している、是非、同地域の小学校も併せて訪問してほしいとのことがありました。

■当地主要紙「シグロ21」本社訪問

12月9日、グアテマラのクオリティ・ペーパーの一つの「シグロ21」社を訪問し、同社ロペス社長及びカルロス編集局長にお話を伺いました。同紙は、特に国際経済面の強化を図って、既にウォール・ストリートジャーナル(WSJ)紙と毎週特約記事を掲載している他、12月後半から、ニューヨーク・タイムズ(NYT)紙、ロンドンエコノミスト誌やハーバード・ビジネスレビューとの特約記事の毎日掲載を開始すると伺いました。同紙読者の95%が定期購読者で、ビジネス関係者が圧倒的に多く、姉妹紙としてアルディア(Al dia)も発行されています。同社による同紙内容については、正確、中立的な報道を心



がけていること、来年は、国会議員・自治体首長を選出する4年に一度の総選挙の年であり、新聞広告収入が相当増えることが予想されることなども伺いました。

◆元国費留学生の会による忘年会

12月10日、市内で元国費留学生の会(ギエン事務局長)の集まりがあり、当方も参加しました。同会は、今年5月に発足総会が開かれ、その後、活動を開始しています。サモラ副会長(京



都大学医学部、左写真前列左から3人目)によるご挨拶と乾杯後、参加者によるパラグアイ・ハープ演奏などがありました。特に、グレンダ・マルティネスさん(元長崎大学医学部熱帯医学研究:左写真の前列右端の方)は、玉置浩二の歌を自らギターで弾き語りして、その見事さに大きな拍手がありました。

当方より、来年2015年は日本とグアテマラの外交関係樹立80周年であり、日本との関係がさらに緊密となるよう関連行事に元留学生の会の参加や共同企画を実施しようと呼びかけを致しました。(了)